

久留米未来デザイン計画 2035（案）の概要について

1 目的・性格

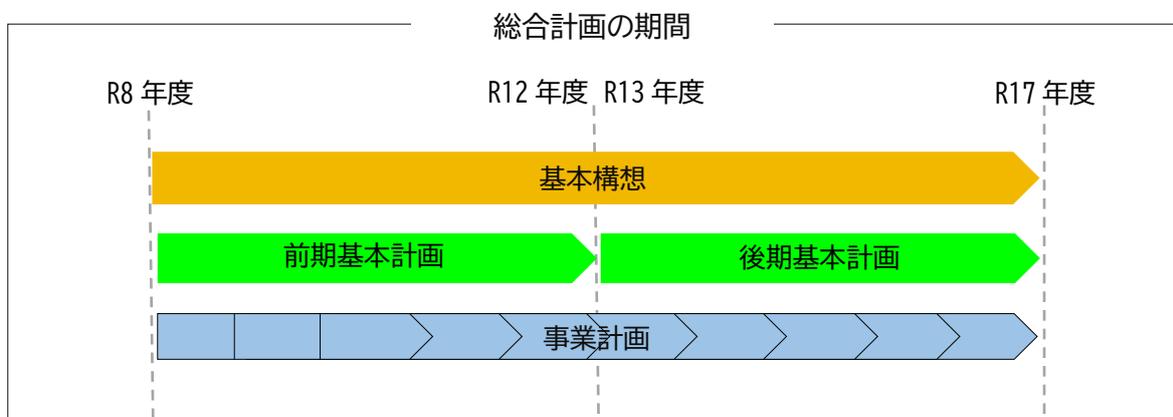
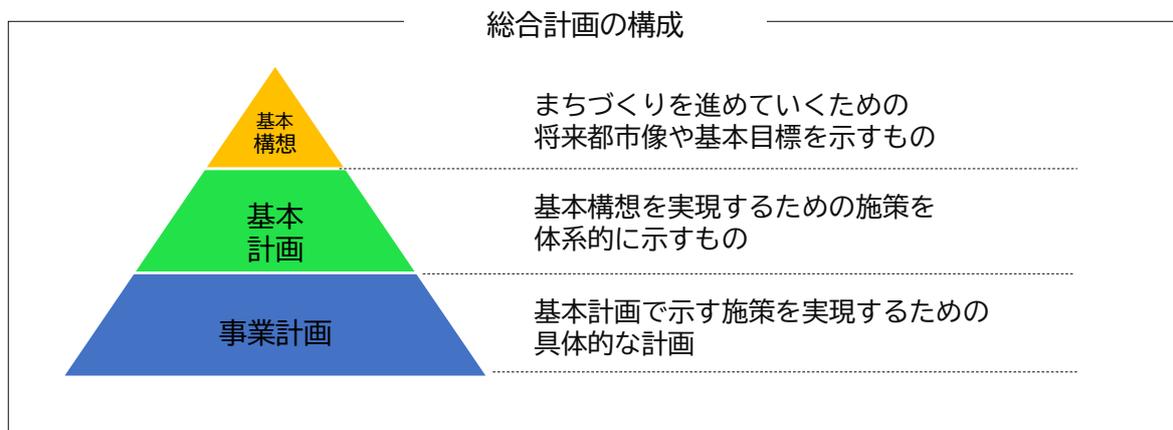
総合計画は、久留米市が将来どのようなまちを目指し、それを実現するために、どのようなことに取り組んでいくのかを示したまちづくりの指針となる計画です。

市民、事業者、団体、行政などの各主体が、それぞれの役割と責任のもとで協働して取り組む地域社会計画として策定します。

2 構成・期間

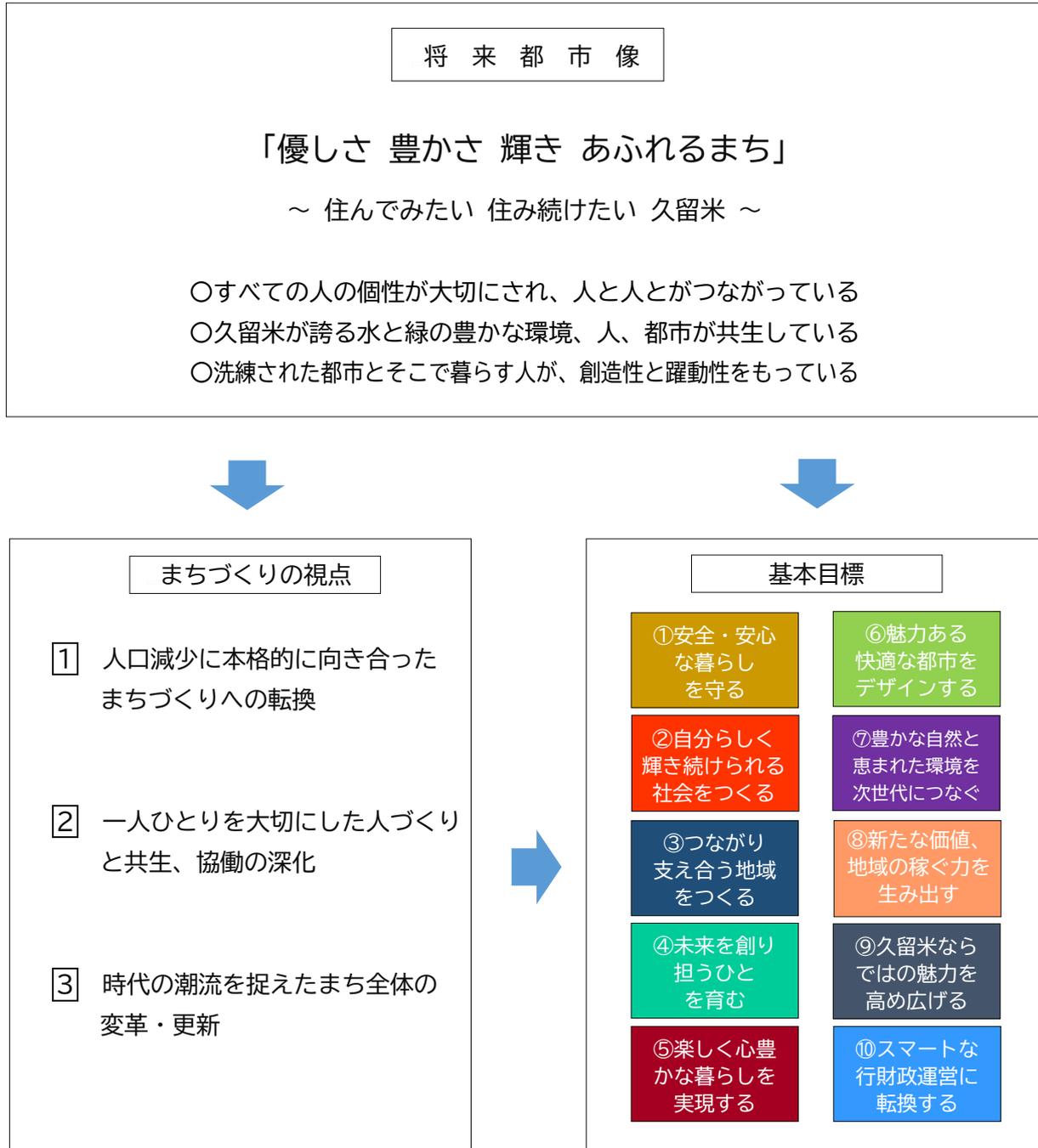
将来都市像や基本目標を示す「基本構想」は、令和 17（2035）年度までの 10 年間とします。基本構想を実現するための施策を体系的に示す「基本計画」は、前期 5 年（令和 8 年～12 年）、後期 5 年（令和 13 年～17 年）とします。

基本計画を実現するための具体的な事業を示す「事業計画」は 3 年とし、毎年度見直しを行います。



3 基本構想（案）

未来に向けた新たなまちの姿として、「優しさ 豊かさ 輝き あふれるまち」を将来都市像に設定します。その実現に向けて、時代の潮流や急速に進む社会経済環境の変化に的確かつ柔軟に対応したまちづくりを進めるため、3つのまちづくりの視点をもって、10の基本目標を設定し、施策を展開します。



4 2035年の人口

日本社会全体の人口減少の進行を踏まえながら、持続可能で発展を続ける中核都市として、久留米市の将来人口推計及び本計画に示す施策展開の効果を検討し、基本構想の目標年次である令和17（2035）年度末の人口を29万人と設定します。

5 前期基本計画（案）

□ まちづくりの視点ごとの取り組むべきポイント

(1) 人口減少に本格的に向き合ったまちづくりへの転換

- 人口減少スピードの緩和
- 人口減少や人口構造の変化の影響を見込んだ戦略性をもったまちづくり

(2) 一人ひとりを大切にしたい人づくりと共生、協働の深化

- あらゆる施策において人づくりの視点をもったまちづくり
- 支え合いながら共生できる地域づくり、協働の仕組みや環境づくりをより広げ深めるまちづくり

(3) 時代の潮流を捉えたまち全体の変革・更新

- 気候変動リスクや急速なデジタル技術の進展、市民ニーズの多様化など環境の変化への対応
- 様々な領域で変革・更新を重ね、新たな魅力や活力を生み出すまちづくり

□ まちづくりの指標

市民、事業者、団体、行政などが、協働してまちづくりを進めていくため、「基本計画全体の評価」と「基本目標毎の評価」を行う指標を設定し、計画の達成度や進捗度を共有します。

(1) 基本計画全体の評価

基本計画全体の評価は、「人口」と人口動態の増減に影響を及ぼす市民の意識である「住みやすさ」「定住意向」で行います。

指標	区分
人口（住民基本台帳人口）	統計
住みやすさ（住みやすいと思う市民の割合）	意識
定住意向（住み続けたいと思う市民の割合）	意識

※目標人口の考え方

計画に掲げた施策の実施による効果を考慮し、令和 12（2030）年度末の人口を 29 万 5 千人と設定します。

(2) 基本目標毎の評価

①めざす成果

10 の基本目標の実現に向けて、各施策がめざす成果を総合的に示します。

②施策指標

めざす成果の実現状況を評価するにあたって、各施策の進捗状況を明らかにする「施策指標」を設定します。

(3) 指標の目標年度

令和 7（2025）年度を現状値とし、令和 12（2030）年度を目標として設定します。

《基本目標毎の評価一覧》

	基本目標	めざす成果	施策指標
1	「安全・安心な暮らし」を守る	安全・安心に暮らせると思う市民を増やす (市民意識調査)	防災に関する出前講座や研修に参加した人数、避難行動要支援者名簿の登録率 一般刑法犯認知件数、体感治安 休日・夜間の救急受入体制 (病院群輪番制事業実施率)
2	「自分らしく輝き続けられる社会」をつくる	生きがいをもって自分らしく暮らすことができていると思う市民を増やす (市民意識調査)	人権感覚を高めたい市民の割合、初めて人権研修に参加した人の割合 校区コミュニティ組織における女性役員の割合 健康づくりに取り組む市民の割合、福祉施設利用者の一般就労移行者数 認知症予防事業への参加者数
3	「つながり支え合う地域」をつくる	地域での支え合いや助け合いが充実していると感じる市民を増やす (市民意識調査)	支え合いの場の数 (通いの場、集いの場など) 市民活動・ボランティア活動の団体数 ボランティア活動や地域活動に参加したことがある市民の割合 地域の交流活動へ参加した外国人の数
4	「未来を創り担うひと」を育む	自分らしく学び、成長できるまちと思う市民を増やす (市民意識調査)	地域でのこども・若者の居場所の設置校区数 子育てしやすいまちだと感じる市民の割合 自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合 学習したことを地域や社会の中で活かすことができている市民の割合
5	「楽しく心豊かな暮らし」を実現する	心豊かに暮らしていると思う市民を増やす (市民意識調査)	文化芸術に触れた (鑑賞・活動した) 市民の割合 成人のスポーツ実施率 歴史遺産に触れる機会がある市民の割合
6	「魅力ある快適な都市」をデザインする	まちに出かけたいと思う魅力や楽しみがあると思う市民を増やす (市民意識調査)	中心市街地の歩行者通行量、居住誘導区域内の人口の割合 生活支援交通の導入校区数 利活用が進んでいる公園の延べ数 上水道・下水道老朽化対策進捗率
7	「豊かな自然と恵まれた環境」を次世代につなぐ	日常で環境に配慮した取組をしている市民を増やす (市民意識調査)	再生可能エネルギー導入量 市民一人1日あたりのごみ排出量 自然や生きものを守るための活動や行動をしている人の割合
8	「新たな価値、地域の稼ぐ力」を生み出す	市民の所得水準を高める (統計調査)	製造品出荷額 農業産出額 働きやすい職場環境に関する認定を取得した事業所数
9	「久留米ならではの魅力」を高め広げる	久留米に愛着をもつ市民を増やす (市民意識調査)	中心市街地の歩行者通行量、観光入込客数 シティプロモーションサイトのPV (ページビュー) 件数 地価 (中心部商業地)、主要駅における乗降客数
10	「スマートな行財政運営」に転換する	持続可能な市民サービス提供、まちづくり推進体制を整える	市民活動団体や地域コミュニティ組織、事業者等との協働事業数 市役所に行かなくていいオンライン手続の導入割合